

⑦6 千曲川の堤防決壊箇所における緊急復旧工事

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所

キーワード 地元協力会社、鋼矢板二重締切堤防、災害協定

全建賞審査委員会の評価ポイント

令和元年東日本台風により千曲川において決壊した堤防の緊急復旧工事。災害協定を締結していた地元業者と一丸となって、仮堤防を5日間で整備し、鋼矢板による締切堤防を概ね2週間で完成させており、早期の地域の安全性向上に大きく寄与している点が評価された。

1. はじめに

令和元年の台風19号は、10月12日夜に伊豆半島に上陸、関東や東北を北東に横切る様子を通過し、東日本を中心に各地で観測史を更新する記録的豪雨を降らせた。令和2年2月に「令和元年東日本台風」と命名されたこの台風により、大規模な河川の氾濫や土砂災害など広域かつ甚大な被害をもたらされ、とりわけ信濃川水系千曲川では、観測史上最大の洪水により長野市穂保地区の堤防が決壊して南北約5km、東西約2kmにわたり浸水する大被害となった。



堤防決壊状況（令和元年10月13日）

2. 事業の概要

長野市穂保地区の堤防決壊は、令和元年10月13日早朝に確認した直後より、24時間体制で堤防決壊箇所を一次締切するための応急仮堤防工事に着手し、発災後5日間で完成させた。その後、二次締切として鋼矢板二重締切堤防工事を開始し発災17日後の10月30日に完成させた。一次締切の応急仮堤防工事は、千曲川河川事務所と災害協定を締結していた地元協力会社5社による施工が行われ、二次締切の鋼矢板二重締切堤防工事は、北陸地方整備局と日本建設業連合会北陸支部との間で締結し

ていた「災害時における北陸地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定書」に基づき、復旧工事の協力要請をし、決定した災害協定2社により施工が行われた。



応急仮堤防完成（令和元年10月17日）



鋼矢板二重締切堤防完成（令和元年10月30日）

3. 事業の成果

今回の緊急復旧工事により、本堤防復旧工事が完了するまでの間、洪水を防御するための本堤防の機能が確保され、地域の治水安全度向上に寄与した。

4. おわりに

堤防決壊の被害を受けた長野市穂保地区の堤防復旧は令和2年6月に完成している。令和3年3月には長野市と国土交通省が連携して申請した同地区を含む「長沼地区河川防災ステーション」計画が登録となり、今後、長野市と国土交通省が連携して防災体制の強化を図っていく。

賛助会員 鹿島建設(株)、大成建設(株)